



駐日大使は語る④

駐日・^ポール・カヴァナ
駐日・^カヴァナ大使

駐日大使は、各国の正式代表として日本に常駐する唯一の存在。
大使の目に、日本外交はどう映るのか。
国連安保理非常任理事国を務める
アイルランドのカヴァナ大使に聞く。

Paul Kavanagh

1956年生まれ。国連で長く勤務した後、国連アイルランド政府常駐代表、駐フランス大使、駐中華人民共和国大使、駐アラブ首長国連邦大使などを歴任し、2018年より現職。

熟練外交官が見た 日・アイルランド関係の風景

【インタビュー・構成】小南有紀

——大使は外交官として非常に豊富な経験をお持ちです。
大使 外交には大きく分けて多^{マル}国間と二^ニ国間のものがあり、私はその両方に携わってきました。一九七八年に外務省に入省し、駐中華人民共和国アイルランド大使館の設立などに携わりました。八三年に国連に出向し、当時のハビ

エル・ペレス・デ・クエヤル事務総長の下で、イラン・イラク戦争やユーゴスラビア紛争、カンボジア内戦などの調停に力を尽くしました。国連勤務時の九六～九八年には、東京国際連合広報センター所長として日本に赴任した経験もあります。そして本国に戻った後、国連アイルランド政

府常駐代表などを務め、フランス（モナコを兼任）、中国（モンゴルを兼任）、アラブ首長国連邦（アフガニスタン、カタール、クウェートを兼任）に大使として赴きました。

ある日、外務大臣から電話があり、駐日大使への就任を打診されました。私にはアジアで長く働いた経験があり、「アイルランドにとつて、日本との関係は大きな優先事項だから」だというのが、私が駐日大使に選ばれた理由でした。当然、私は喜んで引き受け、両国の友好関係に寄与できるように努めています。

——国連勤務時に日本に赴任された時と比べて、日本の変化は感じますか。

大使 まず、日本の若い人々の国際志向が高まり、よりオープンになったと感じます。また、中国への日本の認識の変化も感じます。現在とは異なり、九〇年代の日本では、中国の台頭に対する懸念の声はあまり耳にしませんでした。経済的には日中は深く結びついており、いま日本国内では中国とどのように付き合うか盛んに議論されていますね。

——日本を旅して、印象に残っている場所がありますか。

大使 もちろん！まず、六月に訪れた伊勢神宮では、大宮司（当時）の小松揮世久さんにお会いし、神道について深く学びました。京都では、平安時代から伝わる舞を鑑賞

するなど、日本の歴史に触れました。そして、アイルランドとの関係では、鳥根県松江市も外せませんね。松江市は、日本では小泉八雲の名で知られる、作家ラファディオ・ハーンが暮らした地です。彼の曾孫である小泉凡さんが館長を務める小泉八雲記念館では、とても充実した展示を楽しむことができます。

国連重視の外交を展開

——アイルランドは国連安保理の非常任理事国を務めています。

大使 アイルランドは西欧の一国ですが、一九五五年の国連加盟時にはまだ経済的に豊かではなかったことや、植民地としての経験を有していることもあり、先進国と途上国の橋渡し役を担ってきました。また、いかなる軍事同盟にも参加していないことから、冷戦期には東西の懸け橋となりました。

アイルランドは国連の枠組みを重視しており、安保理非常任理事国を務めるのは四度目です。一九五八年から現在まで途切れることなく、国連平和維持活動に参加し続けており、これは我が国の外交が「ルールに基づく国際秩序」に立脚していることを表しています。

ただし、真の平和の実現には、単に戦闘を止めるという意味での「平和維持」だけでなく、人々が紛争のメンタリテイから抜け出せる「平和構築」が必要です。北アイルランド紛争の平和を実現した一九九八年の「聖金曜日合意」の経験から、我が国は平和構築の大切さを理解しています。また、例えば気候変動など、紛争の原因となり得る問題を解決し、紛争を予防することも大切です。アイルランドは平和の実現のために、国連安保理が包括的なアプローチをとれるように尽力しています。

——ウクライナ情勢についてはどうですか。

大使 アカウンタビリテイが必要で、国際刑事裁判所や国連高等弁務官、国連人権委員会などが調査を行える環境を整えなければなりません。国際法違反や人権侵害があったことを示す証拠があれば、国際法に則って裁かれなければなりません。侵略は許されるものではなく、我が国は状況を注視しています。

——六月には、英国がEU離脱後の通商ルールを定めた「北アイルランド議定書」を破棄する方針を示しました。

大使 アイルランドとしては、英国が北アイルランド議定書を一方的に破棄しようとしていることを強く懸念しています。国際法は遵守されるべきだというのが我が国の立場

です。英国では議定書が聖金曜日合意を損なっているという声もあるようですが、議定書には聖金曜日合意を守ることで明記されています。議定書の破棄は、北アイルランドの人々の意思にも反し、ビジネスにも悪影響を及ぼすでしょう。EU側としては、英国の行動を冷静に捉えており、問題解決のために英国と話し合う意思があります。

アイルランドと英国は、暗い過去があったものの、ともにEU加盟国として友好的で協力的な関係を築いてきました。もちろん、EU離脱という英国の選択を、アイルランドは尊重しています。しかし、これまで培われてきた両国の関係を揺るがすような事態になつてはいけません。

駐日大使の任期満了を前に思うこと

——二〇二三年からは、日本が国連安保理の非常任理事国を務めます。

大使 日本は民主主義などの価値を共有するパートナーであり、アイルランドは日本との関係を重視しています。新型コロナウイルスやウクライナ情勢、北朝鮮の核問題や気候変動問題など、幅広いイシューで両国は連携しています。安保理非常任理事国としてのアイルランドの任期は今年の十二月三日までですが、バトンは日本へ引き継がれ



2019年ラグビーW杯の期間中、日本はアイルランド国民の注目の的となった（AP／アフロ）

ます。両国はこれからも国連の内外で緊密に連携していくでしょう。

——アイルランドの人々から見た日本は、どのような国なのでしょう。

大使 二〇一九年のラグビーワールドカップでは、約二万二〇〇〇人のアイルランド人サポーターが来日しただけでなく、本国でも多くの国民がテレビで試合を観戦しました。アイルランド国民が日本のすばらしさを知る機会になったといっても過言ではありません。

さらに、東京オリンピック開会式でのアイルランド選手団の入場も忘れられません。選手たちはフィールドで立ち止まり、式に出席されていた天皇陛下にお辞儀をしたのです。アイルランドの選手たちが日本に対するリスペクトを示してくれたことは誇らしかったですね。

そして、より多くの日本の方々に、アイルランドに来ていただきたいと思います。アイルランド人はとてもフレンドリーで、観光客をもてなすのが大好きです。美しい自然や街並み、文化を楽しんでいただけることでしょう。そして、アイルランドは人への投資で発展してきたこともあり、高等教育が充実しているので、留学先としても魅力的です。日本の学生向けにもワーキングホリデー・プログラムを用意しており、たくさんの方々が来てくださるのを心待ちにしています。

——大使は八月で駐日大使の任期（四年）を終えられます。

大使 たくさんの方々とお会いし、また日本各地を旅して、この国が大好きになりました。二〇二四年には、新しい大使館ビル「アイルランドハウス」が四谷に完成し、ここを拠点に日愛関係はますます深まっていくことでしょう。私のこれまでの外交官人生において、駐日大使として働けたことはかけがえない経験です。●